

第6回 藤枝市子ども・子育て会議 議事録

日 時：平成26年8月19日（火） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：藤枝市役所 5階 大会議室

出席委員：松永委員長 鈴木正副委員長 井原委員 片山委員 松山委員 青島委員
鈴木芳委員 白ヶ谷委員 井戸上委員 大石委員

議 事：（1）次世代育成支援行動計画【後期計画】進捗管理について （資料1に基づき事務局が説明）

委 員： 7ページにある交通安全指導員の事だが、小学校の登下校の安全に関しては、地域の安全ボランティアの力が大きい。こういった方々の高齢化が進んでいる問題があり、後継者も見つかりにくい。市にこのような問題を認識しておいて欲しい。

委 員： ファミリーサポートセンター事業についてだが、地域の偏りがあるのではないか。自分たちの地域に提供会員がいないという事もある。実態をわかる範囲で良いので教えて欲しい。

事務局： 提供会員については、地域で対応していただける会員に偏りがあるのは事実である。やはり、活動できる時間帯や曜日が会員ごとに異なるので、ニーズのマッチングで苦慮するケースもある。

委 員： 地域子育て支援センター事業の項目があるが、市内の幼稚園は月に1回は未就園児の親子に遊びに来てもらっている。行動計画に載ってはいないが、そういった活動をしているという事を把握していただき、数字に加えていただければありがたい。

事務局： A3版のパンフレットで幼稚園の園庭解放をお知らせさせていただいている。窓口や各支援センターに来られた方々に今後も積極的に情報提供をしていく。また新計画の中では、各幼稚園が行っている事業についても掲載する方向である。

委 員： 不審者の情報発信メールは誰でも利用出来るのか、また年間の件数はどの位か。

事務局： メール登録方法が定められているので、誰でも登録・利用は可能である。実績としては「藤枝地域安全ニュース」として平成25年度に176回発行している。

委員長： 4ページの次代の親の育成については、広く周知できるような講座を開くなど親としての基礎知識を身に付けられるよう、充実させていただきたい。また家庭教育学級の推進についても、参加者の偏りについて、県レベルで問題となっている。第一義的責任を果たせる親になるための支援をしていく必要があると感じている。

議 事：（2）藤枝市子ども・子育て支援事業計画（案）について （資料2に基づき事務局が説明）

委 員： 地区ごとに量の見込みが出ているが、不足に対して認定こども園化や小規模保育所とあったが、北東部地域は不足量も小さい為、既存の幼稚園が認定こども園にしたいという希望があった場合、ニーズが少ないから駄目という事になってしまうのか。

事務局： 基本的に確保方策の量に不足が出ている場合は、認可しなければならないとなっている。これは認定こども園だけではなく、小規模保育所についても同様である。ただし、財源が無ければ

整備出来ないなので、計画に上げて財源を確保していく事になる。計画の途中で希望があった場合には、中間年度での見直しがあるので随時、園と話し合いながら進めていきたい。

委員： 区域設定をすることによって、現在区域から離れた施設を利用している方が利用できなくなる事が心配である。

事務局： 施設整備については、区域設定をする事により進めていく。施設の利用については、区域を超えて利用する事は可能なので、市全体で考えていく事も重要であると認識している。結果的には、区域ごとの不足を解消することによって、市全体のニーズも満たされると考えている。

委員： ニーズに対して不足があるから整備するのであって、もしニーズが満たされているのであれば、これ以上の保育環境の充実は図られない事になってしまうのか。

事務局： 計画としては、年度ごとのニーズに対して確保をしていくという事になる。その不足を解消することが大前提にはなるが、市の方針として、ある特定の地域の保育環境を充実させるというものがあれば、ニーズを満たしていても整備することは考えられる。

委員長： フォーラムの中でも、今後の子育て支援のあり方について、従来の形態にとらわれず多様な保育サービスの提供が求められていくという話であった。子育てというと幼稚園や保育園に目が行きがちだが、それだけではなく都心部では様々な形を地域の住民が考え、実際に行動しているという事であった。

委員： 放課後児童クラブについて、高洲・大洲地区で27年度の量の見込みが293件ある。この区域には現在4つのクラブがあるが、単純に1クラブにつき約70名という事になる。この数字を満たすにはかなりの施設整備をしていかなければならないと思うが。

事務局： 確保方策については、国から余裕教室等の活用を推進するよう方針が示されている。ただし、藤枝市においては児童数が増えているという事もあり、余裕教室の確保が難しい地域もある。現段階では、確保方策は掲載していないが、今後お示しさせていただきたい。

(15:20議事終了)